

令和元年度 防火・防災学習会の記録

みんなで守ろう！ 私たちのまち

笠山町自主防災委員会

と き 令和元年 11 月 17 日(日) 19:00~21:00

ところ 笠山会館 2 階ホール

参加人数 54 名 (協力者 2 名を除く)

組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
人数	6	9	3	5	2	2	4	4	4	2	3	5	2	1	2	54

学習内容

1. 「そのときに備えて！防災対策」 ☆家庭の防災力アップと草津市の防災体制
2. 「一次救命処置」 ☆家庭でできる応急処置

町内会長のあいさつ

近年、市内各地で災害の備えというところで、いろいろな取り組みがなされています。笠山町では、10月の終わりからこの時期を学習月間と定めており、本日、自主防災委員会が、防災に関する学習会を開催させていただくこととなりました。

多くの方のご参加をいただきありがとうございました。

本年、滋賀県からこれまでの活動を評価していただき、知事の表彰を受けましたので披露させていただきます。学習会の終了後、会議室に戻させていただきます。



学習-1 「そのときに備えて！防災対策」 ☆家庭の防災力アップと草津市の防災体制

講師 草津市危機管理課参与 徳田 安雄 様

今年も全国各地で多くの自然災害に見舞われました。これまでも、亥の年には多くの災害に見舞われています。これまで、来年の干支、 年も災害がよく発生をしています。私たちの住んでいる草津市は災害の少ないところで地震でもこれまでの最高は震度5という他の市町村では考えられない数値ですが、だからといって安心とは言えないことは、十分ご承知のところす。とりわけ笠山町さんは毎年このように学習会を開催されており、本日の会長さんのあいさつのなかで紹介されましたように、防災の備えに対する優秀なまちとして表彰を受けられたとおり、熱心にお取り組みをされていることに敬意と感謝を申し上げます。



草津市には、各学区に備えている防災備蓄倉庫のほか、市内5ヶ所に所飲料水を蓄わえておくタンクを設置しています。

私は、個人の意識を高めことも大切なことと考えて学習をしたり、安く手に入る防災グッズを100円ショップで買って集めました。ツナ缶の油にちり紙でつくったこよりで、明かりをとることができます。

一家の防災グッズにかかる費用は、平均で年間5,000円弱といわれていますが、私の場合は最大級といわれる5万円超えとなっていました。



亥年に発生した災害

- ・ 1611 慶長三浦地震
- ・ 1707 宝永地震・富士山大噴火
- ・ 1779 保永大噴火
- ・ 1923 関東大震災 死者・行方不明者10万5千人
- ・ 1935 博子江口地震 死者14万2千人
- ・ 1947 スリン台風 死者1,077人・行方不明者401人
- ・ 1958 伊勢湾台風 死者4,697名・行方不明者401人
- ・ 1971 富士急行列車事故 死者17名
- ・ 1983 三宅島噴火・日本海中部地震・大蔵航空機墜落事件 死者269人
- ・ 1996 阪神淡路大震災 死者6,437人・地下鉄サリン事件
- ・ 2007 熊鷹半島地震・中越沖地震 死者15人
- ・ 2018 山形県沖地震、九州北部豪雨・台風19号・19号 死者64人・行方不明者6人、千葉県内

2018年 亥年 年間総雨量...今年もあと45日、振り返ってみると

18 豪雨 大雨特別警報 避難指示 被害100万人

出典15号

強風被害 相次ぐ

停電や断水 不安定

草津市の防災体制 主な防災備蓄品

- ・ アルファ米 49,000食
- ・ 毛布/保温シート 16,000枚
- ・ エンジンカッター 57台
- ・ チェーンソー 43台
- ・ 発電機 55台
- ・ 救助工具セット 42台
- ・ 仮設トイレ(固液分離方式) 202台

この他各校の倉庫には、紙おむつ、生理用品など生活必需品等を備蓄しています。

◇日々の生活に少しの時間と考えを有効に活用してみると手の届く範囲で防災グッズが（安く上手に）備えの準備が出来そうです。

学習一2 「一次救命処置」

☆家庭でできる応急処置



講師 湖南広域消防 南消防署副署長 阪口 清隆 様

今日のテーマの『自分でできる防災の備え』は、消防署でも力を入れているところです。例えば、◇家庭のキッチンには常備しているものに目を向ければ、ラップや買い物ナイロン袋が、運悪くも切り傷や骨折を招いたときや災害時のおむつに有効に対処できる貴重な代用応急品になります。

また、腕など骨折であて木の代用として本を使用することがありますが、ラップの芯は軽くて負担にならない、ラップ字体も止血や首から手を吊る際に素早く長さが調節できる便利なグッズであることを覚えておくのとっさの対応に助かります。

救急車の利用は緊急急病人を必要とする時に利用するものであることは、周知されているハズですが本来の目的に沿った通報は65%程度となっています。人命を助ける大切な任務をご理解ください。

自主防災委員会の活動状況(抜粋)

- ・8月24日(土)の夏まつりでした。消防隊は8月4日の会場清掃、当日の模擬店の出店(やきとり)に参加をしました。
- ・すでにお知らせをいたしましたが、10月に行われた第64回滋賀県消防大会で知事(優良)の表彰を受けました。
- ・消防ホースは使わなくても劣化により支障をきたすことがありますので、予防保守として年間20本の予算で取り換えています。本年度は7組-3本、8組-6本、9組-2本、10組-9本を取り換えました。
- ・12月には地域安全委員会と合同で啓発パトロールを実施します。
- ・次年度の準備は2月と3月に年間の振り返りや慰労会の予定をします。

以上

ちょっと 一言

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント(3つの習慣・4つの対策)

○3つの習慣

- ・**寝たばこ**は、絶対にやめる。
- ・**ストーブ**は、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ・**ガスこんろ**などのそばを離れるときは、必ず火を消す。

○4つの対策

- ・逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- ・寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防災製品**を使用する。
- ・火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する。
- ・お年寄り、乳・幼児や身体の不自由な人を守るため、**隣近所の協力体制**をつくる

【笠山町防災マニュアル】

- ◇火災は、持ち場の率先行動
- ◇震災は、支持を受けて行動

詳細は笠山町ホームページに掲載しています。

[防災委員会のページ](#)